

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 (認定 NPO 法人) かながわ森林インストラクターの会
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 ☎045-4412-2255 URL: <https://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

やどりき水源林森の案内人(定期)観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から (認定 NPO 法人) かながわ森林インストラクターの会員が水源林をご案内します。
 やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

春到来

さあ！萌黄色の世界へ

今年の春はいつもと違うようです。例年より気温が上がり、いつもならサクラの後から咲くヤマブキ等もあわてて花を咲かせました。小さな草花も背丈が伸びないうちに花を付けています。木々も葉を展開し始め萌黄色の世界に。定番のミソサザイのさえずりやカジカガエルの鳴き声も聞こえます。水源林は一気に賑やかになってきました。



広場付近のソメイヨシノ



マメザクラ



寄バス停付近の枝垂れ桜



コクサギ



アカシデ (赤い房は雄花)



ヤマブキ



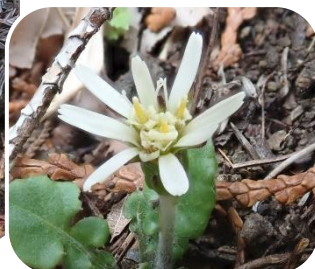
センボンヤリ
 まだ小さな花の脇に、秋の閉鎖花の種の跡が残っていました。
 センボンヤリは春と秋の2度咲きます。春は舌状花の中心部に筒状花があります。



ナガバノスミレサイシン



ジロボウエンゴサク



ウラシマソウ 芽吹き



ヤブレガサ 芽吹き



3月29日、夜の雨もあがり、だんだん青空が広がってくると昆虫たちが出てきました。春先に出てくるピロウドツリアブが低空で花を求めて飛び回ります。冬を越したテングチョウやキタテハは日当たりの良い落ち葉の上で翅を広げ、鮮やかな黄色のキタキチョウは2頭でくるくる回りながら上へ飛び去りました。



テングチョウ

フデリンドウに訪れた
ピロウドツリアブ

ミヤマセセリ



ミヤマセセリが飛んできました。そのうち落ち葉の下に体を押し込みました。よくみると尾を折り曲げ何回も動かして産卵行動の様。でもこんな場所では孵化した幼虫が困りますね。しばらくすると飛び立ち、別の場所を探しているようでした。



ニホンアカガエル卵塊



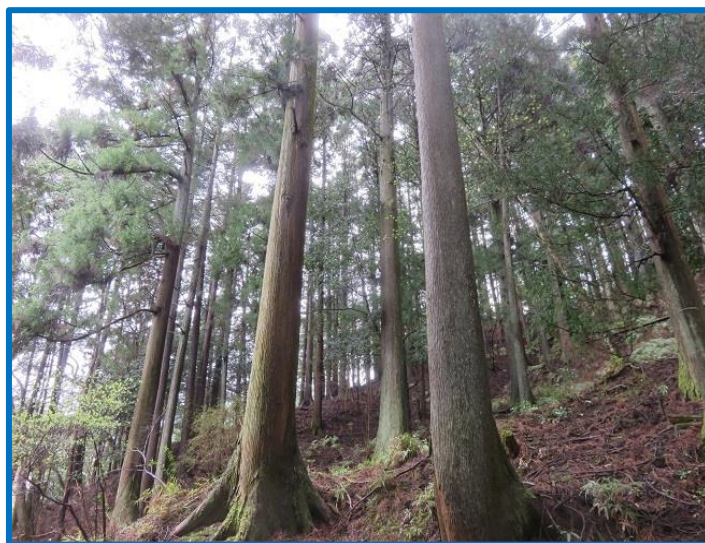
アズマヒキガエル卵塊

ヤマアカガエルやアズマヒキガエルも産卵を始めました。水溜まりに卵塊があると、水が干上がるのではと心配になります。

管理道のグレーチング下でカエル数頭の鳴き声が賑やかに聞こえました。覗いてみると、ヤマアカガエルの卵塊がいくつもありました。ここも新たな観察場所になりました。



感染予防をしながら、森の案内人の研修会を実施しました。森の案内人一同、皆様のお越しをお待ちしております。



やどりき水源林には巨木林を目指すとするエリアがいくつかあります。

ここもその一つ。この一番大きなスギは幹回り3mでした。

<5月の水源林>

いろいろなウツギが次々と咲いていきます。ヒメウツギ、バイカウツギ、ガクウツギ、マルバウツギ、ウツギ 3月末には、あわてもののヒメウツギが早くも蕾を白くしていました。もしかしたら今年は全体に早めに咲き始めるかもしれませんね。



ヒメウツギ
前夜の雨の雫で白い蕾が丸く見えます。